

魚介類中の食品汚染物検査



【PCB検査】

平成24年5月、10月及び11月に中央卸売市場で収去した市内に流通する魚介類17種20検体について、PCBの検査を行いました。その結果、5検体からPCBを検出しました(表)。しかし、検出された値は暫定的規制値以下でした。

表 PCBの検査結果

単位: ppm

食品の種類	検体数	検出件数	結果	暫定的規制値	
遠洋沖合魚介類 (可食部)	ギンザケ	1	0	不検出	0.5
	ゴマサバ	1	1	0.05	
	サンマ	1	0	不検出	
	ヒラメ	1	0	不検出	
	マイワシ	1	0	不検出	
	マサバ	1	0	不検出	
内海内湾魚介類 (可食部)	アカカマス	1	0	不検出	3
	キジハタ	1	0	不検出	
	クロムツ	1	0	不検出	
	スズキ	1	1	0.06	
	ババガレイ	1	0	不検出	
	ブリ	2	1	0.02	
	マアジ	3	0	不検出	
	マコガレイ	1	1	0.03	
	マダイ	1	1	0.01	
	メジナ	1	0	不検出	
	ヤリイカ	1	0	不検出	
計	20	5	—	—	

(検出限界 : 0.01ppm)

【メチル水銀検査】

平成24年3月に中央卸売市場本場食品衛生検査所で行った魚類の総水銀検査で、アカガレイ1件から暫定的規制値(0.4ppm)を超えた総水銀が検出されました。

魚介類の水銀の暫定的規制値は総水銀としては0.4ppm、メチル水銀は0.3ppm(水銀換算濃度)です。そのため、衛生研究所においてメチル水銀の検査を行ったところ、アカガレイからメチル水銀が0.47ppm(水銀換算濃度)検出されました。4月にその結果を、中央卸売市場本場食品衛生検査所に報告しました。



【 検査研究課 微量汚染物担当 】